

第71回応用物理学会春季学術講演会

12 有機分子・バイオエレクトロニクス 公開シンポジウム
ナノテクノロジーを駆使したバイオセンサー最前線
 ～ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェン
 FETセンサーによるパンデミックのない社会の実現～

オンライン聴講
無料

日時 令和6年3月22日(金) 13:30～17:30

会場 東京都市大学 世田谷キャンパス (東京都世田谷区)

基調講演

三林 浩二 (東京医科歯科大学)	「血中ガス成分の非侵襲バイオ計測・動画 像化と新規ヘッドホン型センサの開発」
加治佐 平 (東洋大学)	「グルコース変動から診る未来のヘルスケ ア～アスリートから妊活女性まで～」
関谷 毅 (大阪大学)	「フレキシブル脳波センシング技術が生み 出す医療・ヘルスケアの可能性」



三林 浩二



加治佐 平



関谷 毅



徳田 優果

招待講演

徳田 優果 (村田製作所)	「グラフェンFETバイオセンサの安定化に 向けて」
木村 雅彦 (村田製作所)	「グラフェンFETセンサの社会実装に向け たシナリオ」



木村 雅彦



松本 和彦

世話人

松本 和彦 (大阪大学)	JST未来創造事業「世界一の安全・安心社 会の実現」領域 PL)
田中 健一 (三菱電機 技術統轄)	JST未来創造事業「世界一の安全・安心社 会の実現」領域運営統括)



田中 健一

主催 応用物理学会、



科学技術振興機構



※なお、シンポジウム内容や登壇者は
変更する場合があります。
当シンポジウムに関するお問い合わせは、
下記Eメールまで直接ご連絡ください。
・お問い合わせメールアドレス
nigs-staff2@sanken.osaka-u.ac.jp
(%を@に変えてください)

